

滝小だより



2025年(令和7年)

『ひびきあう ことば・こころ・こうどう』

○ことば:「よく考える子」

○こころ:「思いやりのある子」

○こうどう:「ねばり強い子」



学校運営協議会がスタート -さらに魅力的な学校へ-

私たちは、滝の沢小学校の子どもたちの「はち切れんばかりの明るさ、素直さ、人懐っこさ」が大きな魅力であると考えています。そして、子どもたちがのびのびと過ごせる校風も、本校の特長の一つです。そのような本校に、5月1日付で「学校運営協議会」が設置されました。学校運営協議会制度については、4月号の学校だよりでも少しご紹介しましたが、資料として取り上げた藤沢市の説明資料には、次のような記載があります。

「現在、学校と地域を取り巻く課題は、ますます複雑化・多様化しています。学校には、特別な配慮を必要とする児童の増加などに伴い、多様な児童や保護者への対応が求められています。こうした学校の役割の拡大により、教職員の業務量が増加していることも課題となっています。コミュニティ・スクールでは、各学校が掲げる目標やこうした課題を地域と共有し、連携・協働しながら、子どもたちの笑顔あふれる学校づくりを通して、未来の社会の担い手となる子どもたちの『生きる力』を育むことを目指します。」

本校でも、まさに同様の状況に直面しております。そのため、まずは学校運営協議会の委員の皆さまに、本校の現状をしっかりとご理解いただいた上で、そこから見えてくる課題について、どのようにアプローチしていくかを、それぞれの立場から熟議を重ねていきたいと考えております。5月28日(水)に開催された第1回学校運営協議会では、授業参観の後に学校運営に関する基本的な方針をご承認いただきました。また、本校の課題である「教員が子どもと向き合う時間や授業準備の時間をいかに確保するか」「通学路の危険箇所の把握に向けて、何ができるか」について、学校から説明し、委員の皆さまと共有いたしました。学校運営協議会は、年間5回の開催を予定しております。第2回以降の会議は原則として公開とし、開催の2週間前までに学校ホームページでお知らせいたします。傍聴を希望される方は、ホームページに掲載する「傍聴のご案内」をご確認ください。

教育長から委嘱または任命された学校運営協議会委員は、次の通りです。(任期は原則2年としています)

久保田和男(地域コーディネーター) 大塚真奈(湘南大庭市民センター長) 戸板博子(民生委員)

宮城洋児(滝の沢パラダイスコordinater) 小林俊(こばやし幼稚園長) 後出淳一(ありんこ児童クラブ長)

ゲザー襟子(保護者代表) 川原和美(保護者代表) 中野浩(自治会代表) 佐藤克(地域学生)

瀬戸宣武(滝の沢小学校長) 高橋みずほ(滝の沢小学校教頭) 芦澤愛(滝の沢小学校児童支援担当)

お知らせ



◆通知票の評価に関するご説明

昨年度、「学校だより 9月号」にて、通知票の評価について本校の考え方をお伝えしましたが、今年度は個人面談に先立ち、改めてご説明させていただきます。なお、本文中に出てくる「A」「B」「C」は(A:よくできた B:できた C:もう少し)という意味です。

まず、本校では、「B」は「できている」「十分できている」と捉えていて決して悪い評価ではありません。むしろ、自信を持っていただきたいと思います。「A」は特別な評価です。もし「C」がついていた場合には、「2学期こそは絶対にBにしよう」という前向きな気持ちで取り組んでほ

しいと願っています。「C」を「B」に上げることに大きな意味があり、子どもたちの将来にもよい影響をもたらすと私たちは考えています。「C」は叱責ではなく、次へのステップとして、努力の方向を示すものです。今後の励みにしていただけたら幸いです。

さて、現在の学習指導要領では、児童の学習状況を以下の3つの観点で評価することになっています。

知識・技能	「何を理解したのか、何ができるようになったのか」
思考・判断・表現	「理解したこと・できるようになったことをどのように使い、表現するか」
主体的に学習に取り組む態度	「目標(*1)に向かって粘り強く取り組み、自らの学習を調整(*2)しようとしているか」

(*1) ここでの目標には、1.知識・技能の獲得や、2.思考力・判断力・表現力の向上も含まれます。

(*2) 試行錯誤を通じて自分なりに工夫し、将来的に社会や人生において主体的に他者に働きかける力や人間性を育てるという意味も含まれます。

これらの観点は、保護者の皆さまには少し分かりづらく、「理科でAが1つあるから大丈夫かな」「国語はCが2つだからよくないのかな」と、ABCの数だけで評価を捉えてしまうかもしれません。しかし実際には単に数ではなく、上記に示した各観点の意味に基づいて評価が行われています。

最後に、評価の仕方と評価基準について簡単にご説明します。

- ① 知識・技能 昔の成績評価に近いと捉えていただいて構いません。主に、単元テストの結果や文章の内容、観察・実験、実技などから評価します。単元テストの得点目安は、A：95%以上 B：65%以上（低学年は 70%以上）としていますが、テストの点数だけで判断しているわけではありません。
- ② 思考・判断・表現 単元テストも含みますが、主にレポートや新聞の作成内容、発表、話し合いの様子などを通じて評価します。「①で身につけた知識・技能を活用しているかどうか」ということも評価の対象になります。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 2つの側面から評価します。「粘り強さ：目標をあきらめず、継続的に努力する姿勢・能力」「調整力：新しい情報や友達の意見などに応じて、自分の考えを柔軟に変える力」評価は主にノートやプリントの記述、授業中の発言・行動、児童による自己評価・相互評価などを通じて行います。

これら3つの観点は相互に関連しています。たとえば①がCであると、②や③もCがつきやすくなり、①がBであれば②や③にAがつきにくなる傾向があります。もっとも、これはあくまで一般論であり、現在も「このような評価の在り方でよいのか」という議論は続いています。

◆滝の沢中学校 学校公開週間のお知らせ -滝の沢中学校から周知依頼がありました-

- ・滝の沢小学校の保護者様はどなたでも参観できます
- ・期間 6/18(水)～6/24(火)(土日を除く)
- ・公開時間 8:35～14:55(但し、6/18は14:25まで)
- ・持ち物 うわばき



7月の主な行事(変更することもあります)

- 2日(水)～4日(金)4時間授業 9日(水)～11日(金)・15日(火)・16日(水)個人面談(4時間授業)
11日(金)4年プラネタリウム学習投影 15日(火)学校運営協議会 16日(水)給食終了
16日(水)5年ライフセービング教室(3時間授業) 18日(金)終業式(3時間授業) 22日(火)～夏季休業